

港湾空港局

一般会計要求総額
特別会計要求総額
合計

10,135百万円(対前年度 +75.1%)
5,819百万円(対前年度 +4.3%)
15,954百万円(対前年度 +40.4%)

【令和4年度 予算要求の経営方針】

ポストコロナ社会における本市の持続的な発展を支えるため、北九州港と北九州空港において、「物流拠点化」「ゼロカーボンシティ」「魅力ある地域づくり」の実現や「市民の安全と安心」の確保に向けた取り組みを進めます。

【令和4年度 予算要求の基本的な考え方】

(新)：新規事業、(拡)：拡充事業

物流拠点化

○九州・西中国の物流拠点空港の実現

- ・物流拠点としての機能強化 (新物流拠点化基盤整備推進、新滑走路延長支援)
- ・貨物便の誘致と集貨 (新物流拠点化推進、新大型貨物専用機就航促進)

○北九州港の物流拠点機能の強化

- ・新太刀浦コンテナターミナルの機能強化
(新第2コンテナターミナルコンテナクレーン及びチェックブリッジの更新、ヤード舗装の補修)
- ・コンテナターミナルの利用促進 (戦略的な新規航路の誘致や集貨(インセンティブ補助))
- ・新門司地区の機能強化 (土砂処分場の整備、可動橋の改良)
- ・海面処分場の整備 (響灘東地区処分場)
- ・臨海部産業用地の整備及び企業の誘致 (新門司地区・響灘東地区の産業用地のインフラ整備)



北九州空港全景



太刀浦コンテナクレーン

ゼロカーボンシティ

○風力発電関連産業の総合拠点の形成

- ・洋上風車の積み出し等の拠点となる基地港湾の整備
- ・洋上風力発電施設の建設等で使用する特殊作業船(SEP船等)の基地化に向けた検討・整備
- ・響灘地区を中心とした本市への風力発電関連産業の集積

○カーボンニュートラルポートの形成

- ・脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等を図るカーボンニュートラルポートの実現に向けた「北九州港カーボンニュートラルポート形成計画」の策定



洋上風力発電(イメージ図)

魅力ある地域づくり

○みなとを核とした魅力ある地域づくり

- ・みなとオアシス門司港の取り組み等を通じた人々の交流や観光の振興の促進

○北部九州の交流を支える空港の実現

- ・交流拠点としての機能強化(エアポートバス等への運行助成)
- ・旅客便の誘致と集客(定期便定着のための運航助成、旅客の回復をはかるための集客対策)



体幹航海イベント

市民の安全と安心

○港湾の防災・減災対策と老朽化対策の推進

- ・耐震強化岸壁の整備、高潮から企業活動を守るための護岸の整備
- ・老朽化した港湾施設の計画的な更新や航路白地の浚渫



浚渫工事

～ ポストコロナ社会に向けて ～

○北九州港長期構想の策定

- ・北九州港の将来の姿やそれを実現するための施策の方向性を示す「北九州港長期構想」の策定